



SPACE ONE

資料 1-2-5

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
将来宇宙輸送システム
調査検討小委員会
(第1回) R2.1.15

スペースワンの概要及び 宇宙輸送サービスについて

2019年1月15日

スペースワン株式会社



スペースワン株式会社の概要

SPACE ONE

【代表取締役社長】 太田信一郎

【 本 社 住 所 】 東京都港区芝公園

【 株 主 】 キヤノン電子、I H I エアロスペース、
清水建設、日本政策投資銀行

【 会社について 】

2020年以降に世界中で多数計画されている、超小型衛星（重さ100kg前後）を小型ロケットに載せて打上げる、『**宇宙宅配便**』を事業化するために、2018年夏に発足。

現在は、お客様への売り込みを行いながら、サービスインに向けた諸準備を推進中。



ミッションステートメント（経営理念）

SPACE ONE

あなたのビジネスはもはや、宇宙と無関係ではいられない。

リモートセンシング。衛星インターネット通信。スペースデブリ除去。
国家が主体だった宇宙事業に、近年、民間の宇宙ビジネスがつつぎつつぎ参入。
業界の壁をこえた新たな市場を形成している。

これを可能にしているのが、大型の衛星を少数打上げるのではなく
小型の衛星を大量に打上げるという発想。
打上げに対するニーズは変化し、大型ロケットよりも柔軟なスケジュールを組める
小型ロケットに期待が集まっている。

スペースワンは、契約から打上げまでの「世界最短」と
打上げの「世界最高頻度」をめざす、小型ロケット専用の打上げサービス。
専用のロケットと専用の射場で宇宙へのアクセスコストを下げ、
宇宙ビジネスのさらなる拡大に貢献していく。

Launch Your Space Business.

スペースワンの宇宙輸送サービス

SPACE ONE

サービス内容	人工衛星の地球周回軌道への打上げ
サービスコンセプト	<ul style="list-style-type: none">○固体燃料ロケットの特性を生かした<ul style="list-style-type: none">–Quick response【即応】<ul style="list-style-type: none">・契約から打上げまで12か月以内・衛星受領から打上げまで4日以内–Reliable【高信頼】–Affordable【低コスト】○自社専用射場による顧客ニーズへの柔軟な対応
人工衛星打上げ能力 (高度500km)	太陽同期軌道(南方打上げ)：150kg 地球低軌道(東方打上げ)：250kg
年間目標打上げ回数	20回 (2020年代半ば)
サービス開始	2021年度



ロケット機体の概要

SPACE ONE



基本構成	固体燃料3段式 + 軌道変更用液体エンジン (PBS)
高さ	約18メートル
重量	約23トン



射場「スペーススポーツ紀伊」の概要

- 昨年4月に準備工事に着手し、同年11月に起工式を実施。
- 本年後半に施設の建設工事に着手し、2021年度中に完工しサービスインする予定。

名称	スペーススポーツ紀伊
予定地	和歌山県東牟婁郡串本町田原地区周辺
主な建物・設備等	ロケット打上げ射点、ロケット組立棟、ロケット保管庫、総合指令棟
建設計画	2019年4月 工事着工 2021年 工事完工・運用開始



射場立地及び全体図

SPACE ONE

【立地】



【射場全体図】



【アクセス】

